

児童の活動

2025年7月

【1年】1学期終業式 ありがとうの気持ちを伝える



入学してから3カ月が過ぎました。

上級生に助けてもらいながら、いろいろなことができるようになりました。登下校、掃除の仕方、学校のいろいろな場所の使い方などがわかり、自信をもって行動できるようになりました。

平仮名も書けるようになり、終業式では一人ひとりが書いたメッセージカードを上級生に手渡しました。1年生は、この1年間感謝の気持ちを伝えることを大切にしたいと考えています。

「2学期からもよろしくお願いします。」の気持ちを伝えて、気持ちよく1学期を終えることができました。



【2年生・こあゆ学級】

野菜をもりもり食べようプロジェクト～調理編～

7月10日に『野菜をもりもり食べようプロジェクト』として生活科で育てた野菜を使って調理をし、おいしくいただきました。

「野菜が大好き!!」という子どもはもちろん、「野菜は苦手。」という子どももいますが、自分たちが育てた野菜を使って料理をするという特別な体験に、みんな大張り切りで取り組みました。

いつも給食を考えてくださっている栄養教諭の先生や、栄養士さん、健康推進課の方、地域の食育サポーターさんに教えて頂きながら、『夏野菜ピザ』と『やみつききゅうり』を作りました。

みんなで協力して作ったピザやきゅうりは格別だったようで、試食では子どもたちの「おいしいねえ。」「もっと食べたいねえ。」というとびきりの笑顔が見られました。



【3年】 農家の仕事を学習しよう



社会科では、農家の仕事について学習しています。

6月末にきゅうり農家さんへ見学に行き、学習を進めてきましたが、「きゅうり農家さんって冬は何をしているのだろう」「ハウスのどんなところがいいのだろう」といった疑問が新たに出てきました。

そこで、2回目の見学に行かせていただく予定でしたが、厳しい暑さのため、農家さんのご厚意で教室に来ていただき、いろいろなことを質問させていただきました。

事前に考えたたくさんの質問に答えていただいたことで疑問が解決でき、「よく分かった～!」と笑顔の子どもたちでした。

【4年】陶芸教室でシーサー作り



図画工作科の学習で陶芸に取り組みました。

講師の先生をお招きし、粘土を使って作品づくりを行いました。長いひも状にした粘土を新聞紙に巻いたペットボトルに貼りつけるように巻いていきます。その後、それぞれが思いを込めてシーサーの形を作りました。

夏休みの間に乾燥をさせ、世代交流センターにもちこみます。夏休みが明けたら素焼き、釉薬塗り、そして本焼の工程を経て完成です。

どんな作品になるか今から楽しみです。

【5年】室内で体育の学習をしました



熱中症指数が高くなり、グラウンドや体育館での体育の授業ができない状況が続いていたため、学校の会議室を使って体育の授業を行いました。

広い空間ではないので、走ったりボールを投げたりして大きく体を動かすことはできませんでしたが、ストレッチや軽い運動、ペア活動などを行い、楽しく学習できました。

バドミントンのシャトルを使った運動では、男女関係なく楽しそうに活動していました。また、ペアになり新聞紙で作った棒を使い、素早く場所を移動して相手の棒をキャッチし合う運動をしました。距離を遠くしたり、動きを変えたり、4人や5人で同時にキャッチしたりするなど、みんなで楽しみ方を工夫することができました。

【6年生】サマーフェスティバルに向けて



7月26日に世代交流センターである本庄サマーフェスティバルに向けて準備を進めていました。6年生は、「的当て屋」と「スモア屋」を出店します。そのスモアの試作を行いました。スモアは、ビスケットやクラッカーで、マシュマロとチョコレートを挟んだお菓子です。オーブントースターで焼くとマシュマロがトロトロになり、溶けて甘さが増します。子ども達は、マシュマロの置き方や置く順番、焼く時間を工夫しながら試作をしていました。

「本庄サマーフェスティバル」でお店が成功するよう、みんなで協力し、楽しみながら夏休みのよい思い出にしていきたいです。